

2020年4月吉日

関係者様各位

第11回「臨床力！ステップアップ講座Ⅱ」期間延期開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が7都府県に発令されたことにより、コース講習を予定しておりました日程を期間延長し、ご案内申し上げます。

このたびは、Breathing Care Tokyo 主催の第11回「臨床力！ステップアップ講座Ⅱ」開催のご案内をさせていただきます。

「臨床力！ステップアップ講座Ⅱ」は、「胸郭運動システムの再建法」のコンセプトに基づき、胸郭と歩行の関係に焦点をあてた2日間で行うセミナー[2nd-stage]（1st-stage：胸郭運動システムアプローチ講座）です。

胸郭のアライメントと荷重関節の筋の緊張とは互いにリンクし、胸郭のコンディションに荷重関節のファンクションは依存し（下行性の反応）、荷重関節のコンディションに胸郭のファンクションは依存します（上行性の反応）。

今回のセミナーでは、下行性の反応および上行性の反応についていくつかの事象を挙げ、実技を通し両者の関係性を捉え、理解を深められるように構成しております（裏面参照）。特に、胸郭運動システムの異常で生じる歩行の特徴を観察し、足部に操作を加えて生じる胸郭の機能変化を捉え、足部と胸郭とのリンクを十分に理解できるよう、歩行分析に多くの時間を充てます。

ご興味をもっていたいただける先生方には是非ご参加いただければ幸いです。

なお、ご参加をいただける場合は、お手数ですが、下記のメールアドレスまでお知らせください。

皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

記

- 1 開催日：2020年10月3日（土）・10月4日（日）
- 2 講師：柿崎藤泰（文京学院大学）
- 3 テーマ：胸郭運動システムの異常と歩行 -胸郭左側方偏位者の歩行を捉える-
- 4 時間：3日（土）14:30-19:00（14:00 開場受付）
4日（日）10:00-16:00（9:30 開場、昼休憩1時間）
- 5 受講費：¥26,000-（税込）（お申し込み後、お振込のご案内を致します）
- 6 定員：18名
- 7 場所：Breathing Care Tokyo（最寄駅：JR秋葉原駅 徒歩11分）
〒110-0016 東京都台東区台東1丁目23-12 パールヨットビル 2F
- 8 お申し込み先・お問い合わせ先：
e-mail：breathingcaretokyo@gmail.com（セミナー事業部迄）
以下の項目をご記入ください。
 - ① 氏名（ふりがな）
 - ② 性別
 - ③ 所属施設（都道府県名も含む）
 - ④ 職種
 - ⑤ 経験年数
 - ⑥ メールアドレス（PCとスマートフォン）
 - ⑦ 当日連絡可能な電話番号尚、定員になり次第、締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

以上

講師： 柿崎 藤泰（文京学院大学）
テーマ： 胸郭運動システムの異常と歩行
-胸郭左側方偏位者の歩行を捉える-



[概要]

胸郭運動システムの異常は、胸郭の左側方偏位の定着により容易に生じる。胸郭左側方偏位は軸脚である左下肢上に僅かな重みの偏りをつくるのに有効であり、その効果は左下肢の軸機構を強化できる。その結果、胸郭の形状や運動には可逆的な非対称性が惹起する。高い割合で生じる胸郭の左側方偏位者においては、その胸郭アライメントや運動からの感覚を介し、足部での荷重応答は決定される。また、足部での荷重応答による身体反応は胸郭にも生じ、歩行を安定させる。歩行を介し、その下行性、および上行性の反応を捉えることがこの講習の核となる。

「胸郭運動システムの異常と歩行」講習の目的と目標
[目的] 足部からの上行性の反応について理解する。
[目標] 胸郭の機能と荷重関節の機能の相互関係について説明できる。
歩容変化を確実に捉えることができる。

◇1 日目の内容
1. 胸郭運動システムの異常
2. 胸郭運動システムの異常と歩行との関係性
2.1 股関節内旋運動のタイミングに関わる事象
2.2 立脚期前半の骨盤側方移動に関わる事象
2.3 骨盤挙上に関わる事象

◇2 日目の内容
2.4 骨盤回旋に関わる事象
2.5 脛骨の側方への傾斜に関わる事象
2.6 左側からの重心移動の転換に関わる事象
2.7 右側の中足部に関わる事象
2.8 脛骨の前後方向への傾斜に関わる事象

[プロフィール]

1991年 3月 社会医学技術学院理学療法学科卒業後理学療法士国家資格取得
4月 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーション部勤務
1994年 4月 昭和大学医学部第二生理学教室特別研究生
1997年 4月 昭和大学附属豊洲病院リハビリテーション部主任として異動
1999年 12月 アメリカ呼吸管理学会（American Association for Respiratory Care）
雑誌「Respiratory Care」にて1999年 Best Original Paper Award 受賞
2002年 3月 昭和大学医学部第二生理学教室 博士課程修了（医学博士）
2006年 3月 昭和大学附属豊洲病院退職
4月 文京学院大学保健医療技術学部理学療法学科准教授として勤務
2012年 4月 同大学 保健医療技術学部教授、保健医療科学研究科教授として勤務

現在に至る

[過去10年間の著書]

2009 呼吸理学療法 第2版 三輪書店
2010 外来整形外科のための退行変性疾患の理学療法 医歯薬出版株式会社
2011 運動器障害理学療法学テキスト 南江堂
2012 ブラッシュアップ理学療法 ～88の知が生み出す臨床技術～ 三輪書店
2013 新人・若手理学療法士のための最近知見の臨床応用ガイドスー筋・骨格系理学療法 文光堂
2013 呼吸リハビリテーションの理論と技術 改訂第2版 MEDICAL VIEW
2015 理学療法技術の再検証 科学的技術の確立に向けて（理学療法 MOOK 17）三輪書店
2016 胸郭運動システムの再建法 呼吸運動再構築理論に基づく評価と治療 三輪書店
2017 運動のつながりから導く肩の理学療法 文光堂
2017 胸郭運動システムの再建法 第2版-呼吸運動再構築理論に基づく評価と治療 ヒューマン・プレス社

[ビデオ・CD]

2002 誰にでもできる呼吸筋ストレッチ体操 大塚製薬
2003 呼吸筋ストレッチ体操 独立行政法人環境再生保全機構
2004 呼吸筋ストレッチ体操で青春を取り戻そう！ 藤沢薬品工業在宅医療事業部
2005 生活はっとモーニング「いつまでも若々しく老化を防ぐストレッチ」NHK サービスセンター
2014 胸郭運動システムの再建法 ～運動器として捉えた胸郭の機能評価と治療展開～（DVD全3枚セット）
ジャパンライム社
2017 胸郭運動システムの再建法セミナー ～レッドコードを利用した治療戦略～ ジャパンライム社